

# 第12回 留学生里親・里子だより

●「留学生さとおやの会事務局」 〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラレパス内 2010年3月発行  
 TEL: (06) 6910-8800 FAX: (06) 6910-8837

## 留学生さとおやの会新年交流会

2010年1月16日(土)「留学生さとおやの会 新年交流会」が日本語教育センターで行われました。当日は2、3日前の寒さとはうって変わって暖かな日でした。約80名の里親・里子が出席しました。

西村代表幹事の挨拶、田間さんの乾杯の音頭に続き1月生まれの方と一緒にハッピーバースデーの歌を合唱、和やかな雰囲気の中で始まりました。日舞やハーモニカ演奏、南京玉すだれ、皿回しで大いに盛り上がり、留学生によるパフォーマンスに拍手喝采。最後は恒例のビンゴゲームでしたが今年は、ユーエスジェイのペアチケットが賞品にあったので例年になく熱が入っていたようです。

最後は会場をお借りした日本語教育センターの西澤先生の挨拶でお開きとなりました。

日頃このように、里親・里子が一堂に会することが少ないので短い時間でしたが皆さん楽しまれたのではないのでしょうか。

当日参加された里親の皆様、パフォーマンスをいただいた里親、留学生の皆様、また、着物の着付けをお手伝いいただいた皆様に紙面を借りてお礼申し上げます。



松浦 真樹



## 里親

### 喜びも悲しみも里子と共に

私が里親のお手伝いを始めてから10年近くなり、里子達との思い出が積み重なって本当の家族の様に感じられます。特にこの数年は私たち里親にとって、いつまでも心に残る出来事が続き、心配もしましたが全て良い形で収まりました。

現在私達には三人の里子がおります。呉輻さんは京都立命館大学大学院を卒業後オムロン(株)に入社し、研究開発部で勤務しています。在学中も何かと苦労していたと思いますが私達里親は、勉学に励む里子の姿をただ見守るだけで、心配するばかりでした。でも今こうして異国の地で頑張っている里子を見ると嬉しさで一杯です。将来は良い伴侶と幸福な家庭を築いてほしいと願っています。

呉雯雯さんは一昨年トラックに衝突されて大切な就職活動が出来なくなりました。里子は人生計画の変更や怪我治療の入院・通院の不安など多くの問題を抱えて随分悩んでいましたが、現在は国立和歌山大学大学院生として学業を修めています。交通事故の相手側と保険会社の交渉は私が里子との間に入って進めていましたが、西村代表幹事様と松井様にご紹介頂いた辰野久夫弁護士様にお世話になり無事解決しました。(辰野先生も里親さんです)この紙面をお借りして、お世話になった方々にお礼を申し上げます。

李今順さんは昨年めでたく結婚しました。結婚式と披露宴は上海で行い、私達も招待されました。里子は民族衣装に包まれて光り輝く世界一美しい花嫁でした。披露



林 厚子

宴客は200名を越し、料理や飲み物が次々と運ばれて歌舞音曲が続く盛大な宴で、翌日は祝賀バスで親族の皆様と旅行に行きました。新婦も今ではママとなり、私達は祖父母になりました。出産時は陣痛が始まってから私も産室に入ることになり、このときばかりは「苦しみも喜びも里子と共に」在り、我が子「今順」が愛おしく、ただ母子の健康を祈りました。私達は初孫を抱かせてもらい、幸福を感じています。

三人の里子達が幸せに暮らしてくれる事を日々心から願って、これからも交流していきます。このような里子達と出会えてとても嬉しく、ご紹介下さった西村代表幹事様を始め幹事の皆様、そしてお世話をされている皆様に厚くお礼を申し上げます。



## 里親

### 我が家の留学生

留学生のウシャワ ミルワン君はインドネシア人、大阪府立大学で勉強しています。昨年の11月に彼は母国の国家試験に合格しました。今年の3月31日に帰国して、ジャカルタ大学の先生として勤務することになっています。彼とは里親、里子として4年ほどお付き合いさせていただいています。専門は農業工学と言っていました。宗教上の理由でアルコール他食事にいろいろ制限があります。イスラム教の人とは初めての体験でしたので、少し気を使いましたが、あまり難しく考えずに接しています。

昨年の里子も同じインドネシアの学生で、デヴィ クスリニさん、大学も同じ府立大学です。デヴィさんは日本人より日本語が上手のように思うぐらい堪能で、逆に教えてもらうくらいです。

今年お正月に我が家に遊びに来るように誘いましたが、デヴィさんは国内旅行の計画があり来ませんでした。ミルワン君、それからマレーシアのサビルさん、ユミさんご夫妻がやってきました。お正月を祝う家庭料理「おせち料理」を食べながら家内が「かずのこ」「ごまめ」「きんとん」「お雑煮」「お餅」などなど、いろいろ謂れを説明しながら楽しく過ごしました。ユミさんには次女の



松澤 政彦

振袖を羽織っただけですが着ていただき、ミルワン君、ザビル君には村のお祭りののんびり(富田林市甘山という地名でだんじりのある秋祭り用)をプレゼント、楽しいお正月のひと時を過ごしました。

来られなかったデヴィさんは年末年始に九州から山陰地方、北陸地方を旅行したそうで、北陸ではスキーも初めて経験したそうです。帰阪してからメールで教えてくれました。彼女がお世話になった金沢のホストさんとは彼女の申し出で、メール友達になりました。





## 交流遠足 (シャープ・法隆寺)

2009年の10月3日秋晴れの日に、奈良方面の遠足に参加しました。

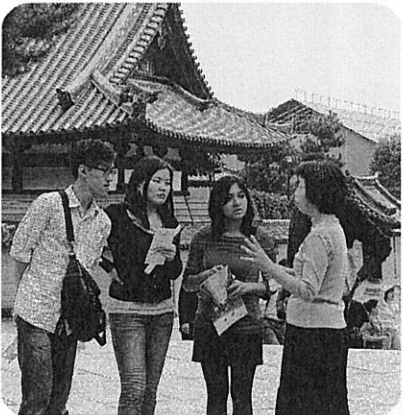
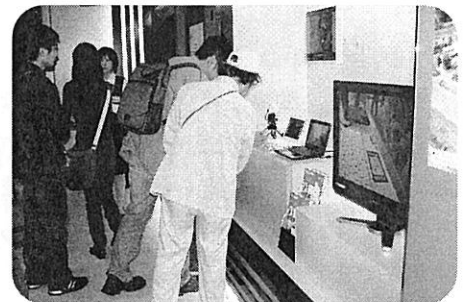
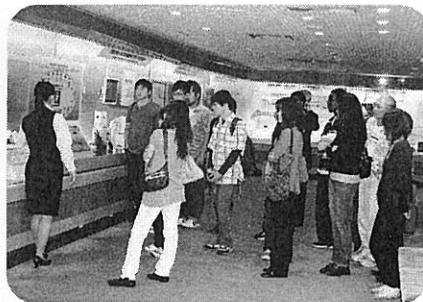
里子との交流といっても、彼らも細かい学校とバイトの予定があり、私達の予定と合わせると、なかなか皆で揃うというのは、簡単ではありません。当日に急にバイトがあったりもします。遠足は早くから日程が決まっていますし、ぜひ、集まろうとこちらもその気になって早くから予定しますので、多く集まれるのかもしれませんが。遠足で一番気になるのが、天気のことですが、里子たちが時間通りに来られるかなということでした。前日のバイト疲れで、休日は寝込んでいる日が多いようです。これは、当日に早すぎず遅すぎずの時間にメールや電話をすることでクリアできました。聞けば、ほかの里親さんたちもこうされているとのこと。全員が揃い、やっとバスが動き出した時は、ほっとしました。

奈良の素朴な風景の中でお昼の麺をいただき、餅つきをし、法隆寺をめぐる、ゆっくり歩いていますと、普段の忙しさを忘れます。特に今回のスケジュールは、時間的にかなりゆっくりされていたこともあり、のんびりとした一日でした。

家に集う時は、今取り組んでいることや、これからの将来のこととか深刻な話になりがちですが、自然の中にあっては、しばらくの間は忘れて気分を変えられたように思います。里子たちにとって携帯とパソコンが必需品となり、いろんな情報がこれらから簡単に得られるようになって来た今日、私達の里子たちへの接し方も変わっていくのかもしれないと感じています。



田仲 八重子



## 里子

### 遠足に参加して

昨年、留学生さんとおやの会に参加してから、いろいろお世話になっています。特に里親の田仲さんはたまたま同じ町で住んでいるので、よく田仲さんの家にお邪魔をしています。

2009年も田仲さんと一緒に交流会の遠足に行きました。奈良にあるシャープの歴史技術ホール展示場と世界遺産の法隆寺です。

シャープの見学では、企業の発展過程と最新技術を見ることができました。歴史ホールでは、数々の世界初と日本初の商品、例えば電卓や電子レンジ等がこの企業で生まれたことが紹介されていました。技術ホールで興味深々だったのは液晶テレビでした。一番薄いところでわずか1センチくらい。他にも様々なLED照明があって、エネルギーとエコを兼ねて発明されたのが示されていました。さすが日本大手会社ですね。

昼食の後、里親と留学生たちはみんなで協力して粟もちを作りました。杵と臼を使っての初めての餅つきです。普通、餅つきは木で作られた杵を使いますが、ここでは石の杵です。手作りで、力を出して打って仕上げたものは熱々でとてもおいしかったです。

お昼ごはんが終わると、みんなで法隆寺に行きました。

法隆寺は世界最古の木造建築として広く知られています。1400年の歴史もあります。入り口の大きな門から、迫力を感じました。秋の青空の下、五重塔と金堂が輝いて、観光客はわくわくして騒いでいるが、周りは日本のお寺特有の静かさで、心が澄んだような気持ちになりました。

最後は道の駅に行って、お土産を買って帰りました。楽しくて充実した一日を送りました。心から感謝しております。



葉晏伶【台湾】



## ワン・ワールド・フェスティバル

2010.02.06.~07.

今年も大阪国際交流センターで開催された「ワン・ワールド・フェスティバル」に参加しました。賑やかに楽しく皆様からご寄贈いただいた商品を販売し、活動についての紹介をしました。商品のご提供をいただいた皆様、当日お手伝いいただいた皆様、ありがとうございます。



### 編集後記

「留学生さんとおやの会」里親・里子だより」も二二回目の発行を数える事ができました。皆様からはお忙しい中、原稿をお寄せいただき、本当にありがとうございます。

交流遠足や新年交流会で垣間見る里親さんと留学生の親子たちは、対面の会の時にはにかみや緊張などはとこへやら？とても笑顔で楽しく、和やかに交流されていました。このような素敵な親子関係への橋渡しができることを嬉しく思っています。最近はなかなかお引受けいただける里親さんも少なくなってきましたが、こんな交流を見ていただいて、気軽に仲間入り頂けたらと思っています。是非お知り合いの方に紹介いただき、この輪がどんどん広がっていきま

すように、ご協力方よろしく  
お願いいたします。

(事務局)

